

1 第 1 回二宮町地域公共交通ワークショップのまとめ

1.1 開催概要

日時：平成 23 年 11 月 28 日（月） 13:20～15:30

会場：二宮町役場 第 1 会議室

テーマ：二宮町の公共交通について

ワークショップのながれ：

13:20～13:30 集合・あいさつ

13:40～14:16 コミュニティバス体験乗車

西公園前・山西小学校前経由 二宮駅行き 左循環

14:30～15:30 意見交換・閉会

参加者：一般公募 7 名、傍聴 4 名、事務局 8 名 計 19 名

1.2 ワークショップのまとめ

(1) コミュニティバス体験乗車の印象・感想

- 初めて乗車して、どこを通っているのか知った
- 思っていたより利用者がいると思った
- 思っていたより利用者が少ないと思った

(2) 日常生活の移動で感じていること、課題に思うこと

- 高齢化にともない、車を運転できなくなった場合の移動に不安を感じている
- 坂道がきついでバスを利用したい
- コミバスの情報（運行ルートや時刻表等）が得られない

(3) 現状の公共交通の問題・課題

【問題・課題】

- コミバスの運行内容（運行本数が少ない、大きな集客施設を通っていないなどルートがよくない、JR との乗り継ぎが悪い など）
- コミバスの周知不足（いつ・どこを走っているのかわからない、行き先がわかりにくい、車両が目立たない、路線バスと見分けられない など）

【対策案】

- コミバスの見直し（車両の小型化、ルートの変更、運行本数の UP など）
- 既存バス以外での対応（デマンド交通、宅配サービス、民間活力 など）
- マイカーからの利用転換促進（ドライバーの高齢化、駅前のマイカー流入規制 など）

2 第2回二宮町地域公共交通ワークショップのまとめ

2.1 開催概要

日時：平成23年12月12日（月） 13:00～15:00

会場：二宮町役場 第1会議室

テーマ：二宮町の公共交通政策の方向性に関する提案

ワークショップのながれ：

13:00～13:05 集合・あいさつ

13:05～13:30 アンケート結果の説明と前回のおさらい

13:30～15:00 意見交換・閉会

参加者：一般公募6名、傍聴5名、事務局8名 計19名

2.2 ワークショップのまとめ

(1) 将来の町民の日常生活の移動の想定

- 将来は、長年住んでいる高齢者と新しく住み始めた若者との二極化が進む
- 若者は朝、夕・夜の移動が中心。特に夜遅くの公共交通が必要
- 高齢者は、昼間の移動が中心
- あと10年もすればクルマの運転がきびしくなるい人が増える
- 山坂が多く歩くのは困難
- クルマを持たなくてもいいと思うくらい日常の移動が便利になる（といい）

(2) 二宮町にとって望まし公共交通のあり方

- 二宮町の人口密度や地形から考えてバスは効率的ではない
- 二宮にあった交通システムを考えるべき
- コミュニティバスは車両を小型化する（路線バスとの差別化を図る）
- 受益者負担とする
- 財政のことも考える（持続可能なシステム）
- 福祉とは分けて考える
- 病院、金融機関、商業施設などの地域の協力・支援
- 路線を導入する地域ごとに地元も負担する
- 駅前の客待ちタクシーの有効利用。コーディネートはボランティア等で地域住民が行う
- マイカー送迎からバス利用への転換を進める
- 公共交通の利用を増やして、駅前の渋滞も解消する

(3) 将来に向けて取り組むべきこと（行政・町民）

(行政)

- 町外からも二宮駅利用者を取り込んでお金を落としてもらえよう工夫をする
- 富士見が丘など丘陵地の移動支援を行う
- 駅前を改善（交通の円滑化）して、公共交通利用促進につなげる

(住民)

- とにかく公共交通を利用する
- お試し期間を設けて新たなルートでバスを運行させる。沿線住民はできるかぎりバスを利用する（それでも利用が少なければ撤退）

(事業者・民間)

- タクシー料金の工夫（空き時間帯の割引など）
- 地域で支える「コミュニティ交通」への参加

